月刊ニュータイプ 2009年3月号付録②



face up to ANGELS Vol.3

SETSUNA F SEIEI

ANGEL

剎那。しかししだいに仲間の存在
ようになる。そして４年という月
戦いの渦へと身を投じる……



時として思いが先走り、むちゃな行動に走りがちな少年、刹那。ニールやスメラギにフォローされながら、ガンダムマイスターとしてみずからの戦う意味を見いだし、世界の歪みに立ち向かうことを選んだ



A.D.2307-2308



精神的にも肉体的にも大きく成長した刹那は、かつての力強い仲間たちを集結させる。地球連邦による偽りの平和、その根源たる世界の歪みを断ち切るため、再びガンダムとともに世界へ降り立つ

A.D.2312-

みずからが「ガンダムになる」ことを切望する少年、それが４年前の刹那だった。この無口な少年は、ガンダムのみを信じ、確固たる意志を反映させ、その機体に搭乗していた。それは、少年時代のゲリラ兵体験に由来する。民族、領土をめぐる紛争によって国をなくし、無意味に人々が殺戮される、信じるべき神さえもいない戦争の世界で彼は、0ガンダムによって命を救われたのだ。そのことをきっかけに、刹那は世界の歪みを断ち切るため、ガンダムマイスターとして生きる道を選ぶ。当初は、かたくなに自分がガンダムになることにこだわりつづけた。その思いと過去のトラウマから、秘匿義務を破ってまで敵に姿をさらしたり、ミッションを優先せずにかってな行動に突っ走ったりと、無謀な行動を取ることも。しかし、戦いを続けていく中で、自分の意志で世界を変革することと、仲間という存在の大切さに気づく。そして迎えた最終決戦では、アレハンドロとの戦いに勝利するも、グラハムとの死闘により相討ちに……。

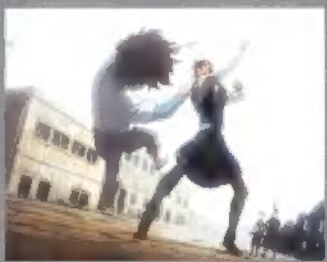
それからの４年という月日は、彼を精悍な青年へと変貌させていた。一度、ガンダムエクシアとともに敗北を味わった刹那だったが、再生への道をいちはやく歩みはじめる。かつてのニール・ディランディがそうしたように仲間をまとめ、新生ソレスタルビーイングとして始動する原動力となっていた。そして戦う意味を知った彼は、再び集った仲間や新たなる機体・ダブルオーガンダムとともに、いまだ残る世界の歪みを断ち切る戦いへと身を投じていく。

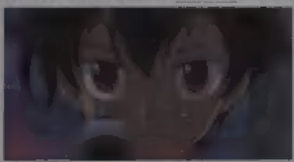
神なき世界の歪みに翻弄される若き魂



↑失意の中、少年兵として戦う刹那の前に突如として現われた0ガンダム

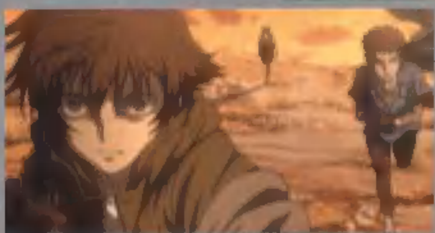
殺戮が繰り返される戦場で、絶望に直面する刹那。そんな彼の目の前に現われ、神のごとく彼を救ったのが0ガンダムだった。エクシアのパイロットとなってからもガンダムに傾倒し続ける刹那。戦いを重ねるなか、みずからの存在意義に疑問をもつこともあったが、しかし最後に導き出した答えは、彼自身の意志による戦争の根絶だった。







←↑命令されるまま人を殺した過去の忌まわしい記憶が刹那を苦しめる



←↑神の名のもとに銃を握る刹那。指導者は、あのサーシェスだった……

GROWING



ガンダムになることで、世界を変革しようとしていた
の重要さ、みずからの意志で戦うことの大切さを知る
日を経て、偽りによる平和を打破すべく、刹那は再び



[ガンダムへの崇拝]

自身が信じて戦ってきたはずの神の存在はなく、何を理由に戦ってきたのかすらわからなくなった刹那の前に現われた0ガンダム。そこに新たな神の姿を見いだした刹那は、ガンダムとともに、争いを根絶する道を選んだのだった

A.D.2307-2308

FIRST SEASON

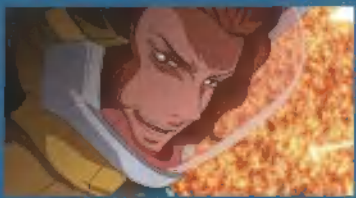


[トランザムの始動]

サーシェス戦の際、イオリアの仕掛けたシステムトラップが作動し、GNドライヴ全能力が解放可能なトランザムが起動。このシステムは、今後の戦いにおいても切り札となる







[“歪み”の破壊]

自分勝手な理想で世界の上に君臨しようとするアレハンドロは、まさに世界の歪み。刹那はニールの残したことばどおり、エクシアのもつ実剣3本でGNフィールドを破り、勝利した

face up to ANGELS Vol.3

SETSUNA F SEIEI

contents

SECOND SEASON A.D.2312-



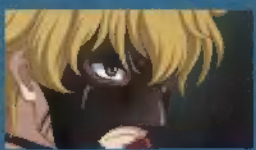
[ダブルオーの力]

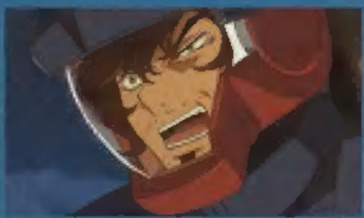
エクシアの後継機として誕生したダブルオーガンダム。当初はまだ実験段階であったが、刹那によってツインドライヴが起動。さらにオーライザーとのドッキング、ダブルオーライザーの誕生となった



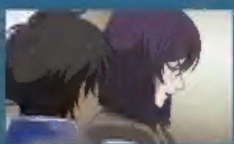
[“因縁”たち再び]

ニールを屠ったサーシェスやガンダムとの戦いを渇望していたミスター・ブシドーなど刹那の前に次々と現われる強敵たち。ダブルオーで、どこまで対抗できるのか!?









[仲間との絆（きずな）]

戦う理由も異なり、まとまりがなかった以前のマイスターたちとは打って変わり、犬猿の仲だったティエリアとも軽口をたたける仲に。同じ目的に向け、仲間意識が強固になった

 text by AYUMI IHARA, MASAAKI HOSHI, AKIKO MATSUYA

Determined mind

幼き少年は勇敢な青年へ。激闘の中で変わったこと、変わらぬもの。刹那のファースト～セカンドを振り返る！

断固たる意志のもと戦場へ……

心は常にトランザム？ ファイトシーン③

いつも全身全霊で戦いに挑む刹那。迫力の戦闘シーンは、ドキドキもしてしまうものばかり



↑衛星兵器「メメントモリ」を打ち砕くために、刹那がおとりとなってヒリング機を誘導。敵機をGNソードで鮮やかに切り裂く



↑ニール仇敵であるサーシェスと再戦。ツヴァイの発展型・アルケーガンダムに悪戦苦闘



↑アレルヤ奪還時、ためらうスメラギに刹那が作戦を要求して、[illegible]



→どんなことをしてもアレルヤを救いたい。刹那は気持ちを仲間に伝えることの意味を知った



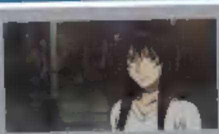
←単身サーシェスと遭遇した刹那は戦闘を開始。そのとき、マリナの歌声が響き戦いは水入りに



↑歪みの消失を確かめるため、ひとりで放浪の旅に出ていた刹那。しかし偽りの平和の存在を目のあたりにして、再起を決心する



↑戦う理由を「俺の願いは戦いでしかかなえられない」と答える刹那に、マリナは涙をこぼす



↑面倒をみてくれたマリナに、戦争を憎む理由を話した刹那。2人はここで再会の約束をする



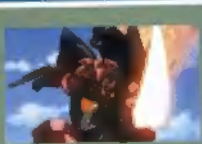
↓マリナの願いを聞き入れアザディスタンまで送る刹那。彼女の身を案じ引き返すなら今と伝えたが、マリナの意志は固かった

彼女にだけは激白！ 本音告白シーン③

ガードが固い刹那だが、なぜかマリナにだけは自分の気持ちを話したくなってしまう!?



↑アザディスタンへ向かう刹那とマリナが見たものは、燃え上がる祖国の姿だった。怒りに震える刹那の前に悪意に満ちた宿敵・サーシェスが現われる



←打倒ガンダムに執念を燃やしつづけるミスター・ブシドーと愛機・アヘッド。彼との因縁とは!?



←暗躍するイノベイターたちは、4年前からの戦いに終止符を打つために立ち向かうべき存在だ

GN-0000 ダブルオーガンダム



→ツインドライヴを搭載した、エクシアの後継機。オーライザーとドッキングすることで、大幅に機動力を強化・安定できる



↑圧倒的なGN粒子放出量を実現したダブルオー。支援機オーライザーとのコラボも美しい



A.D.2312- SECOND SEASON

A.D.2307-2308
FIRST SEASON



神なき世界に神を見た少年

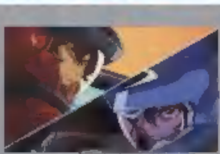


→ガンダムの中で唯一、7本の剣を装備する機体。GNソードなどの実剣は、GNフィールドに対して有効的に攻撃できる

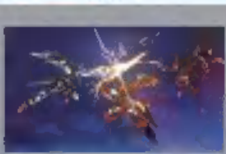


↑まるで刹那に呼応するかのように、強さを増していくエクシア。敵もかつての刹那同様、その姿に魅せられ、戦いを挑まずにはいられなくなるのかもしれない

GN-001 ガンダムエクシア



↑サーシェスとの再戦では、機体の腕を落とすまで追い詰めるが、惜しくも逃げられた



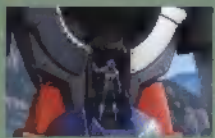
↑トリニティ3兄妹に、ティエリアと[illegible]の息の合ったコンビネーションが果敢に挑む



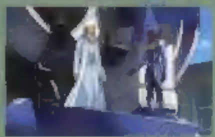
↑[illegible]アルヴァトーレの攻撃にプトレマイオス[illegible]、エクシアはGNソードで特攻し撃退するも、新たなMSが出現



↑単身地上に降りていったエクシアは、トランザムでサーシェスを圧倒。しかし戦力分散により仲間に危機が……



←いきなりコックピットを開け、敵に姿をさらす行動に出た刹那。後には仲間[illegible]

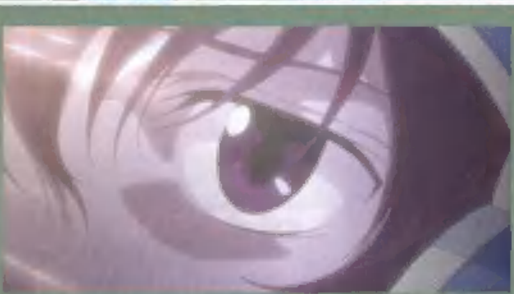


←マスードを保護した刹那は、[illegible]のエクシアで[illegible]で送り届けるという[illegible]の行動を取った

ときには対立も……

単独行動シーン③

マイペースな性格なだけに、単独行動も多い刹那。わがままな行動からリーダーシップにあふれる[illegible]で一挙公開！



←ニールの死や戦闘から、戦う意味や自分の存在意義を見つけた刹那。そして彼は、ガンダムマイスターとして戦う道を選んだ

↓母国を紛争で失った刹那だからこそ、アザディスタン紛争を一刻も早く終結させたかったのだろう



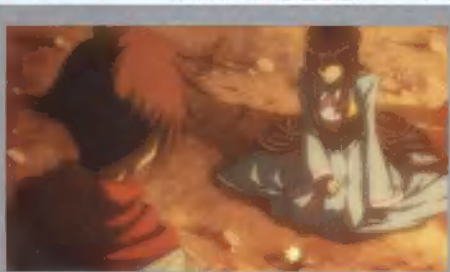
←神を信じ、大きな波へとのみ込まれた刹那。神なき世界に現われるのは、はたして救いか破滅か？



真の敵とは——？

過去との対峙シーン③

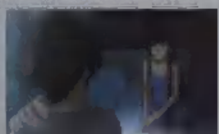
過去と向き合って前に進む刹那の名シーンは、アツい感情が伝わるものばかりだ！



↑「もう戦わなくていいのよ」と、夢の中で語りかけるマリナ。その[illegible]自身が本当は戦いをやめたいのでは[illegible]



↑グラハムたちとの最終決戦を前に、刹那はマリナへの手紙で戦いつづける意味を問うていた



↑世界の歪みへの答えを求め、マリナを訪問する刹那。彼女を信頼するが故の行動だろう

SETSUNA'S RIVALS

猪突猛進型の刹那は、仲間をトラブルに巻き込んでしまうこともしばしば。
そんな彼に翻弄(ほんろう)されつつも、目が離せなくなってしまうのだ

About ロックオン

FIRST SEASON むちゃな行動で迷惑をかける


↑ニールの思いを継ぎ最終戦へ……


↑今は亡きニールとのこんな場面も

兄のような存在のニールは、刹那が自分の家族を殺した組織に所属していたことも、苦悩のすえ受け入れた。彼の人柄に、刹那は仲間を思いやる心を学ぶ。



SECOND SEASON 遺志を継ぎ仲間と戦う

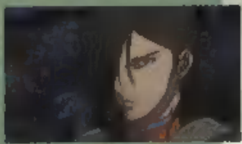


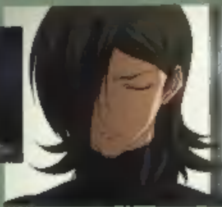
刹那とともに行動することが多かったニールと比べると、ライルとは少し距離感があるように思える場面も。それでもマイスター同士の連携プレーは、息がぴったり。やはり同じ血が流れているから!?


←ダブルオーが故障するシーンでは、ライルが刹那をフォローする

About アレルヤ

FIRST SEASON 戦いに対する思いは正反対


↑守秘義務を破った刹那をかばうシーンも





戦うことに固執する刹那と、争いを避けたいアレルヤ。まったく異なる考えの2人だが、自分の感情を優先してミッションで足並みを乱すところは案外似てるのかも!?

SECOND SEASON "弱さ"を気遣える仲間に

↓素直な笑顔で仲間の無事を喜べるように





刹那にとって、アレルヤは大切な仲間。収監施設に拘束されていたアレルヤを奪還した際やアリオスがロストして見つかったときも笑顔を見せたのだった。

About ティエリア

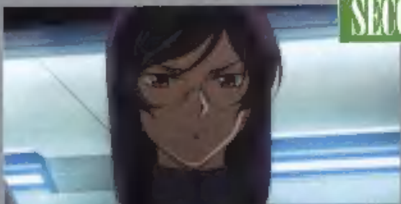
FIRST SEASON 反目し合う犬猿の仲


↓感情で動く刹那が理解できないティエリア



考え方が真っ向から対立する刹那とティエリア。たびたび口論となり、お互いに銃を向け合うことも。しかし少しずつ互いを理解し、気持ちをひとつにしていく。

SECOND SEASON 成長し共闘できる仲間に



互いに成長し、刹那は感情のまま行動することはなく、ティエリアは相手を思いやる心を知っていた。仲間として、さらに強い絆で結ばれたことがわかる。


→ティエリアが刹那を軽くからかう場面も

tell a SETSUNA's fortune

体は大人でも心はまだまだ少年!?　断固たる意志で戦う刹那の内面が、5つの占いで丸裸になるぞ！

from イニシャル占い

一匹オオカミタイプです！

イニシャルにSの付く人は、ほかの人から干渉されることが大嫌いな、一匹オオカミタイプが多い傾向があります。とにかくひとりで自由に生きていきたい。という気持ちが強い方が多いようです。ともすれば個人主義で、自分に酔うタイプなことも。

from 姓名判断

大きな幸運をその手に!?

姓名判断では総画数32（漢字は新字体で判定）。総画数32の人は、強運の持ち主です。ちょっとしたことから大きな幸運を手に入れることができる暗示があります。何事にも一生懸命な人なので、協力者も多いようです。ただし、うぬぼれにはご注意！

from カラー占い

クールな中に深い優しさが

刹那の着るパイロットスーツのような、ブルー系カラーを身につける人は、クールさや知性を求める傾向が強い人です。どちらかというと肉体労働よりも頭を使いたい人なのです。ただし、心の奥底には深い優しさを秘めている人が多いようです。

from ことだま占い

クールで理論的、でも情熱も

名前の最初の音は「せ」。この音をもつ人は、一見してとてもクールで、かつ理論的。ただし、実は内側には熱い情熱を秘めている人です。どんなことでもうまくこなすことができ、トップを狙うことができる能力をもっています。ただし、やや小心者な面も……。

from 姓名五行占い

人をひきつけ、人の中心に立てる

名前を五行で見ていくと、火の要素と金の要素をもち、特に火の力が強い人だということがわかります。火の力をもつ方は、人をひきつけるとても強いパワーのある人で、人の中心に立てる要素がある人といえます。内側に鋭さも秘めているようです。

fortunetelling by SAYAKA SHIJO (Four Clear)

About 沙慈

戦いでしか生きられない刹那と、戦争は自分に関係ないと思っている沙慈。その甘さに、冷たく接することも。

その甘さに冷たく対応

FIRST SEASON





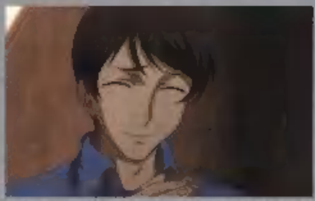
↑普通の学生である沙慈と真逆の人生だった刹那

認めてともに戦うことに

SECOND SEASON

歪みを破壊するため戦う刹那と、ルイスを取り戻すために戦う沙慈。それぞれの思いから2人は共闘することに。



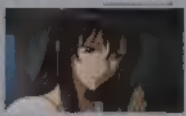


←↑2人が笑い合える日はきっと来るはず

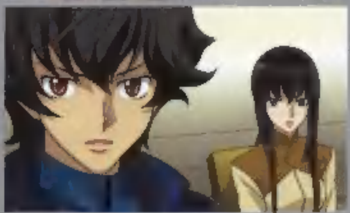
About マリナ

SECOND SEASON

戦うことで紛争根絶をめざす刹那と、争いを避けて平和を模索するマリナ。最終的には同じものを求め合う2人の運命とは!?



↓2人の関係は、恋人というより同志？



道は違えど寄り添う心

気になるもすれ違う心

運命的に出会うマリナと刹那。しかし、お互いの信じる戦争根絶の道は異なり、別々の道を歩んでいく。



FIRST SEASON



←初めて会ったマリナに、マイスターであることを明かす刹那

About ネーナ

FIRST SEASON

再会、しかし本心は……!?

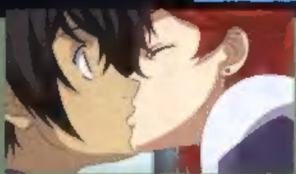


兄妹で唯一生き残ったネーナは、王留美を裏切り、刹那を助ける行動に。ひと癖ありそうな彼女の真意とは!?

→ピンチのダブルオーにここでも救いの手が



SECOND SEASON



←いきなりのキスにさすがの刹那も驚く



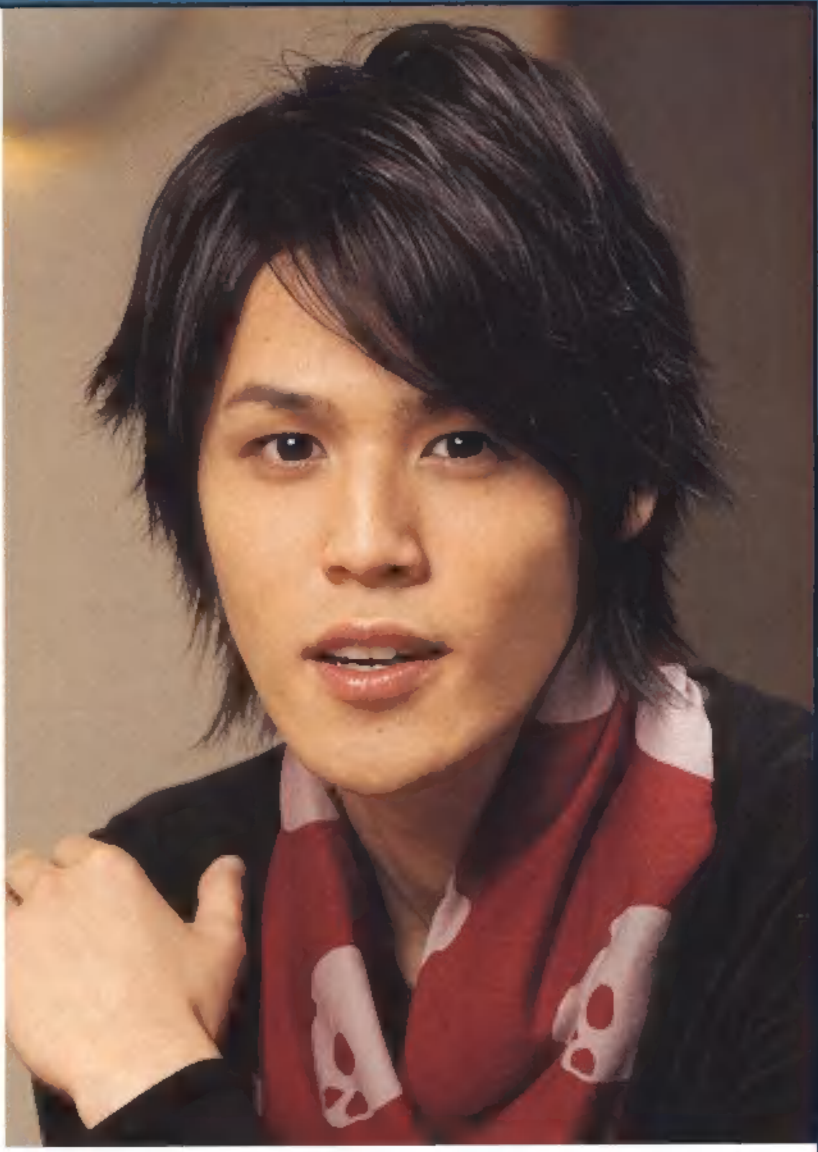
傍若無人なネーナの態度に、不信感をあらわにする刹那。不審感は仲間にも伝わり、交渉は決裂することになる。

異なるアプローチに反発

SETSUNA, fight for the future

それは正義ではないかもしれない。だが戦うことこそ刹那の信念。その思いを貫いた先に見えるものとは？

「自分の信念を貫き通した刹那に早く会いたいですね」
（宮野真守）



——セカンドシーズンで、刹那はどんなふうに成長した？

「いろんな思いを背負っていることだと思いますね。ファーストシーズンの刹那は、ガンダムで戦うことでしか自分の信じられるものを得られなかったと思うんです。でも戦いの中で絆を感じ取って、ニールの死を経験して、仲間に対しての思いがとても強くなった。そういうものを背負って戦うっていうのは、ファーストシーズンの刹那にはない大きな変化ですよね」

——沙慈に対しても以前と接し方が変わっている？

「刹那たちの行動は、沙慈の人生に大きく影響を与えていますよね。だから沙慈と再会したことで、刹那は自分の行いを再確認させられたと思うんです。それでもなお、刹那は戦うことを選んだ。だから沙慈が戦争から逃れられない立場になったとき、戦えと言ってしまうのは彼らしいですよね。でもそれは武力で、という意味とは少し違うと思うし、それが刹那なりの、最大限の励ましだと思うんです」

——激しさを増す戦いの中で、印象に残ったライバルは？

「やっぱりサーシェスでしょう。刹那という人間自身が立ち向かわなければいけない相手ですからね。それとイノベイターですね。彼らに対する敵対心は、大きな原動力になってきていると思います」

——ほかのマイスターの印象は？

shot by FUMIO KANAZASHI hair&make by MISAKO OHASHI (fringe) text by HIROYUKI KAWAI 衣装協力:レスザン

「アレルヤは大事な人を守る、という戦いの理由を見つけましたよね。それでいいと思うんです。世界を変えるって言われても、僕らの生活の中では正直ピンとこない部分もある。でも大事な人を守るっていうのは、戦う理由として純粋で大切なことですよね。ティエリアはファーストシーズンでは絶対見せなかったような表情をたくさん見せてくれるようになりました。彼の中でもいろいろあったんだろうなって、刹那たちとのやりとりを見ると実感しますね。先代ロックオンは刹那にとってとてつもなく大きな存在でした。もちろん刹那に限らず、プトレマイオス2のクルーたちにも大きな存在だったから、どうしてもライルにニールを見てしまっている。でも決してライルに否定しているわけじゃないんです。戸惑いがあって当然じゃないですか。だから今はまだ、ライルという人物を知っていく段階なんだと思います」



⬆「ファーストでやってきたことを背負う、ということを意識しています。刹那も思いを背負うって言ってますしね」

——ダブルオーライザーの印象は？

「ドッキングって熱いですよね(笑)。第11話の合体シーンはメチャメチャかっこよかったです。最初は起動するのも大変だったのに、とんでもない力を発揮して。あと謎の裸現象とか(笑)。今後物語にどんな影響を与えるのか気になりますね」

——今後の活躍に希望することは？

「刹那たちのやろうとしていることは本当に大変なことですよね。善か悪かなんて、その人の立場で変わってきてしまうじゃないですか？　アロウズが卑劣といっても、人と人の争いである以上、その陰にはジニン大尉みたいにそれぞれの生活や人生がある。キャラクターたちにそれぞれドラマがあって、いろんな思いがぶつかり合っている。本当に難しいことをテーマにしていると思うんですよね。その中で、刹那は世界を変えたい、と強く願って戦いを続けている。刹那はファーストシーズンを戦って、4年間世界を放浪して、変わっていない世界を見て、すごく迷ったと思うんですよね。でも自分には戦いしかないから、それを貫き通すしかない。それが正義ではないかもしれない。でも僕は、刹那として彼の思う正義を貫き通して、その先に何があるのかを見てみたい。戦争というものを、自分の力で根絶した先に何があるのか。どんな結末がハッピーエンドになるかなんてわからないですけど、自分の信念を貫き通した刹那に早く会いたいですね」



⬆「戦っている相手として認識しているのは、サーシェスだけじゃないですか？　たぶんブシドーは誰かわからない(笑)」

[仲間たちが感じる刹那]

成長著しい刹那だが、世界を変えたいという信念はまったく揺るがない。そんな刹那を、マイスター&プトレマイオス2クルーのCVたちが熱～く語ります!

三木眞一郎 (ロックオン・ストラトス役)

刹那の4年間は、ほかのマイスターたちが過ごした時間とは質が違うと思いますね。同じ時間を過ごしていても、彼だけ時間の密度が濃い。それが、刹那の強くなった要因って気がします。

神谷浩史 (ティエリア・アーデ役)

刹那は背が伸びましたよね。あと、今回はマイスターの絆が強いのですが、その中でも刹那に仲間意識が芽生えたのはいちばんの変化じゃないでしょうか。

吉野裕行 (アレルヤ・ハプティズム役)

刹那も大人になりましたね。でも、すごい勢いで会話していないんです。救出のときも「アリオスが来る。お前のガンダムだ」……それだけ?みたいな(笑)。

梅津秀行 (イアン・ヴァスティ役)

刹那の数奇な運命……。心を打ちますなぁ……。見どころはまだまだこれからよん♥

東地宏樹 (ラッセ・アイオン役)

ファーストシーズンから比べると、確実に人間味が増しているように思います。もともともっていたものだとは思いますが。

本名陽子 (スメラギ・李・ノリエガ役)

「ピンポーン」。人間的に成長を遂げ、意志の強さが彼を動かしてますが、まさか、ビリーの家まで来るなんて!!　私としては外せないビックリシーンです。

高垣彩陽 (フェルト・グレイス役)

ファーストシーズンでは互いを任務を遂行するためのみの存在としていたような彼が「仲間」と口にしたのがとても印象的。相手を思いやることばをくれる刹那に、人としての変化や絆の深まりを感じます。

戸松遥 (ミレイナ・ヴァスティ役)

相変わらずクールだなぁという印象を受けました。「俺がガンダムだ！」というセリフは一度聞いただけですごく残りました。

Mamoru Miyano Profile

●みやの・まもる／代表作に「DEATH NOTE」(夜神月)、「桜蘭高校ホスト部」(須王環)、「スキップ・ビート！」(不破尚)、「ヴァンパイア騎士」シリーズ(錐生零、錐生壱縷)など。「たまにライルがクルーのみんなと笑い合ってたりするじゃないですか？　ああいうシーンを見ると、みんなとの関係がちょっとずつ築かれているなーと感じます」

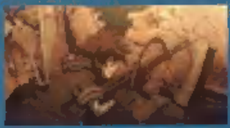
Sayings

SETSUNA SIDE

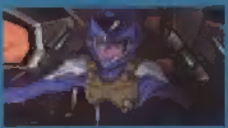
寡黙でクールな印象の刹那だが、そのセリフにはマイスターとしての矜持が。その熱い気持ちを込めて使ってみよう

MISSION 1
踏んだり蹴ったりの状況にひと言
「この世界に、神なんていない」

いつ果てるともしれない戦闘……。周囲には常に弾丸が飛び交う。テロ組織に所属し、絶望的な生活を送っていた幼少時の刹那が、たどり着いた真理がこちらのセリフ。リアル世界では、自転車で転び、あげくの果てに財布も落とす……。何をやってもうまくいかないときに、使ってみたい。



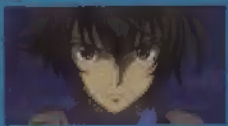
MISSION 2
拒絶ではなく、プライドなのだ
「俺に、触れるな」



セルゲイとの初対戦。彼の操る機体は、エクシアの顔面をつかみ破壊を試みる。しかしビームサーベルで腕を切断し、窮地を脱した刹那は、こう毅然と言い放った。硬派を気取る君が、異性に触れられたときに使えば効果絶大だ。でも、嫌われても知らないぞ。そのほか、痴漢撃退にも有効!?

MISSION 3
自分は悪くないと猛烈アピール
「俺の存在そのものが理由だ」

サーシェスの前にみずからMSを降りて姿をさらした刹那。戦闘後、ティエリアにマイスターである理由を問われた彼が、発したのがこのセリフだ。ミスをしたけれど、立場を悪くしたくないときにぜひ使おう。自分をひと言で全肯定するフレーズだが、ときには反省も大事だよ、刹那……。



MISSION 4
迷いを蹴散らす魂のひと言
「戦え。お前の信じる神のために……」



ロックオンと紅龍がマスード奪還に成功、エクシアで宮殿まで送り届ける。そこで刹那が、マリナに対してかけたことばがこちら。悩む友人に使って迷いを吹き払ってあげてはどうだろうか。ただしいきなり言うと無責任に聞こえるので、よく話を聞いてタイミングを見計らってからが吉。

MISSION 5
皮肉を右から左へ受け流す
「ありがとう。最高のほめことばだ」

ロックオンが「まったく、お前はとんでもねえガンダムバカだ」と皮肉を言ったとき、ほほえみを浮かべながら刹那が口にしたセリフ。誰かに皮肉を言われても、めげずにこう言い返したら、一気に場が和むこと間違いなし。ただし一歩間違えれば、KYな人と思われる可能性もあるので要注意。



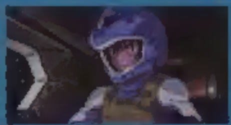
MISSION 6
信じられない行動に怒りを込めて
「これが……ガンダムのすることなのか」



ガンダムを戦争根絶の象徴としてとらえる刹那。だからこそ戦火を拡大するトリニティの行動は、許すことができなかった。いたずらがバレて、晩ご飯抜きを宣告した母親に「これが……母のすることなのか」というように、敬愛する人が信じられない行動をとったときに、ぜひ活用しよう。

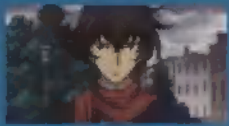
MISSION 7
アイデンティティを示し、自分を鼓舞
「そうだ、俺が！ 俺たちがガンダムだ！」

アレハンドロとの最終決戦で、エクシアはみごと戦いに勝利した。刹那を最後まで支えたのはこのセリフに象徴される、彼のマイスターとしてのプライドだった。スポーツなどのイベントで、みんなの心をひとつにしたいときに。ガンダムの部分を入れ替えて使うと盛り上がり間違いなしだろう。



MISSION 1
デートの約束を成功させる必勝法!?
「お前を迎えにきた」

ニールの弟・ライルを、ソレスタルビーイングへ誘ったときのセリフ。突然の刹那の訪問にライルは面食らったようすだったが、このシチュエーションを参考に誘い文句として使ってみては？　気になるあの子の家に押しかけ、このことばを口にすれば、驚きのあまりついてきてくれるかも!?



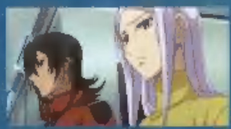
MISSION 2
イヤ～なお願いを断わるときに
「俺にできるのは、戦うことだけだ」



「アザディスタンへいっしょに戻り、争いのない国づくりを手伝ってほしい」というマリナの願いを、刹那はこのセリフで一刀両断。ここまで言い切られると、ぐうの音も出ない。「戦う」の部分を別のことばに代えて、自分の意志を表明するときに使えば、相手もあっさり引き下がるはず！

MISSION 3
うまく照れ隠ししたいときにぜひ
「うれしいことがあれば、誰だって笑うさ」

行方不明のアレルヤが、マリーとともに帰還。珍しく笑みを浮かべる刹那に、沙慈が突っ込みを入れたときの返事がこちら。珍しい事象を一般化するこのことばは、さまざまな場面で大活躍。たとえば、つまらぬ映画に涙してしまったら「感動すれば、誰だって泣くさ」というように切り返そう。



MISSION 4
こっちを向いてよ、という意志表示に
「お前の相手は、この俺だ！」



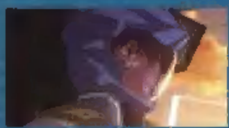
メメントモリを破壊すべく、トレミーは全力飛行する。それを迎撃しようと照準を向けるヒリングに、刹那はこのことばを発した。せっかくのデートなのに、つまらなそうにしている相手に男らしく使ってみよう。向き合ってくれるか、さらにそっぽを向かれるかはあなたの魅力しだいだが……。

MISSION 5
焦っていることを効果的に表明
「退け、貴様などにかまっている暇は！」

窮地の仲間を救うべく、カタロンの基地を飛び出す刹那は、ミスター・ブシドーが搭乗するマスラオに出くわす。焦る気持ちがにじみでるこのセリフは、ピンチに陥った状況を救ってくれるかも!?　テストや仕事の締切り前に、甘い誘惑をもちかける友人に向かって全力で投げかけてやりたいセリフ。



MISSION 6
周囲を気遣える大人になろう
「みんなは、無事か……」



マスラオとの死闘の中、プトレマイオスに通信した刹那。その第一声が仲間を気遣うこのことばであり、彼が大きく成長したことを表わすシーン。ここは、照れずにみんなを心配した彼を見習おう。いつも斜に構えている君も、仲間が困っているときはこのセリフで、好感度アップをねらえ！

MISSION 7
感謝を強要された場合の返答に
「……礼を言ってほしいのか？」

自分をマイスターに推薦したのがリボンズであると聞き、さすがに動揺を隠せない刹那。しかし、すぐに態勢を立て直し、彼はこう切り返した。恩着せがましくものを言う人には、このセリフを使って一発お見舞いしてやろう。皮肉が詰まっているので、本当に感謝をしているなら使用厳禁！




Newtype
月刊ニュータイプ
THE MOVING PICTURES. MAGAZINE
©創通・サンライズ・毎日放送
© Kadokawashoten 2009
Printed in Japan
art direction by NORIHIKO NETSU
designed by TAKANORI MORIWAKI
YUKI AKIYAMA
face up to ANGELS Vol.4
LOCKON
STRATOS

COME



A.D.2307-2308
FIRST SEASON





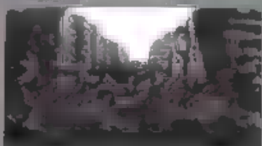
A.D.2312-
SECOND SEASON

重く痛ましい過去に縛られた兄弟











by AYUMI HARA, MASAAKI HOSHI, AKIKO MATSUYA

BACK ANGEL





A.D.2307-2308

FIRST SEASON

[マイスターの足跡]

[テロへの憎しみ]









[宿敵との死闘]

SECOND SEASON A.D.2312

[新マイスター加入]







[兄の面影を追う]



[アニューとの出会い]





face up to ANGELS Vol.1

LOCKON STRATOS

contents

Neil Dylandy

誰よりも家族を愛し……ニール……一挙集結！

マイスター……を束ねる希代の狙撃手





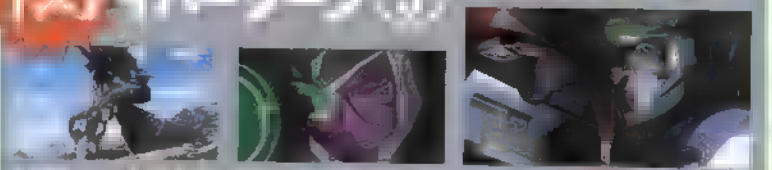


フルをは……め多数……を装備……各種ミ……ショ……

ガンダムデュナメス

スナイパーシーン③

……ダムに乗……を紹介！



……危険……感じたニールは……
……との……さ……GNアー……スローネの銃撃の前に……



……を流すフェルト……ニールは守秘義務……と過去……彼女の……
……MS……ていして彼をかば……

兄vs弟シーン③

……の血が……
家族への愛情が強い……
……狙撃……反動力……



……を失った自爆テロの……
……戦いに敗れ……半ばに戦線を離脱す……最後……

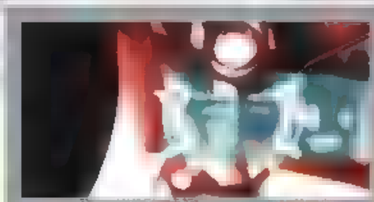


……テロ……への憎しみは強……珍しく感情をあらわに……
……ース……の……かわさ……れ、思わず……
……右目を負傷す……狙撃手としては致命的な怪……

A.D.2307-2308
FIRST SEASON

Lyle Dylandy

受け継がれたロックオンの名のもとに



大量破壊兵器メメントモリの破壊作戦。





の脱獄に…ナイパーぶりを発揮

↑反政府勢力収監施設に幽閉されたアレルヤの奪還作戦。…の役割は…

プライベートシーン①

もあるフェ…が…相底



させるためにキス…し、これ…こと…



…を受け…オス2…と彼女の興味も…は…うな表情を…



…の服を…することは違えど、…



↑初出撃するライ…おらぬ面々と…



…への参加を決めたラ…部を離脱し「俺の…



…自分…過去を…未来のために戦うの…はどこか…

A.D.2312 SECOND SEASON

ロックオンの名を引き継ぎ、戦うライル。…目が離せない…よう

ガンダム… ケルディムガンダム





…ナス…の…として…れたMS。…ーライフルⅡを…

本気モードシーン①

名スナイパー…るニール…ライル…その迫力を…の名を遺憾…ところ…



↑ガンダ…を迎え討つ姿を…ケルディム…ロックオンの名に…



↑真剣に…エリアも心強…



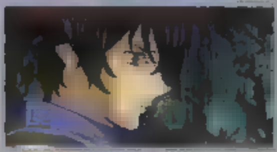
…撃破され…ライルは敵を討つ…敵機…ます…射撃の名手…を取らな…

shooting the TARGET

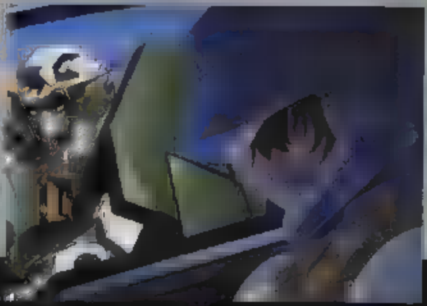
To 刹那

FIRST SEASON

因縁の過去をもつ2人







単独行動を取り

SECOND SEASON







To ティエリア

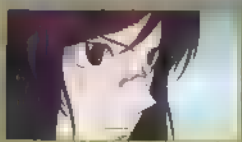
FIRST SEASON





→自分を追い込

SECOND SEASON





To アレルヤ

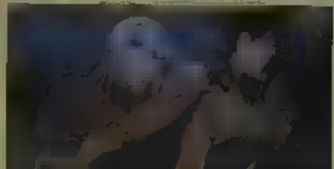
FIRST SEASON





SECOND SEASON





→アレルヤ

To ハロ

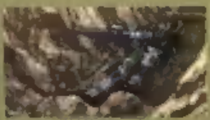


↑ニールは、最後にハロをなでて別れを告げた

悲しき離別

FIRST SEASON

デュナメスに搭乗するときには、いつもいっしょだったハロ。そのサポートで、ニールは安心して狙撃に専念することができた。かけがえのない相棒だ！



↑兄弟ともども、ハロのお世話になりっぱなし!?



兄同様、ライルもハロといっしょにケルディムへと乗り込む。名サポーターというだけでなく、亡きニールとの兄弟の絆をつないでいるのも、やはりハロならではの役目なのだろう。

兄との絆としてのハロ

SECOND SEASON

To プトレマイオス・クルー

アニューへの思い

SECOND SEASON



→本音を明かすライル。今後の展開が気になる！



新生ソレスタルビーイングに参加し、プトレマイオスに乗船したアニュー。お互いが気になるようではあるが、はたして２人の行方は……。

FIRST SEASON



まだ少女としての幼さが残るフェルト。ニールの存在と励ましがきっかけとなって、生きる希望をもった強い女性へと成長を遂げていく。

フェルトとの語らい

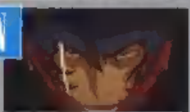
→ニールに淡い想いを抱くフェルト。ハロを抱き締めながら本音を語るシーンも



To サーシェス

今こそ家族の敵を…！

FIRST SEASON



→ニールの家族を奪ったのはサーシェスだった



テロ行為を心底憎み、復讐に燃えるニール。サーシェスとの最終戦では、ミッションよりも私怨を優先して戦うが、命を落としてしまう。

SECOND SEASON



家族を、そして兄を殺した相手が、サーシェスであることを知ったライル。冷静に感情を静めたようだが、次に会ったときの反応は……!?

兄の弔い合戦

→スローネツヴァイの進化型、アルケーガンダムは手ごわく、苦戦を強いられる



tell a LOCKON's fortune

マイスターの頼れる狙撃手。兄、弟としてではなくロックオンとしての彼の心の奥底をそっとのぞいてみよう！

from イニシャル占い

いろいろな騒動に巻き込まれがち

イニシャルがＬの人はとても社交的で友人も多い人です。ただし、そのぶんあちこちでいろいろな騒動に巻き込まれる傾向があります。その原因の一端は本人にもあるのですが、とにかくとても忙しくなりがち。加えてちょっと天然なところもあるようです。

from 姓名判断

嫌なことも率先して引き受ける

姓名判断ではアレルヤと同じ総画数23。総画数23の人は、とにかく行動力がある人です。周りの人が嫌がるような役目でも自分から率先して引き受けていきます。そのため、周りの人から好かれやすいのです。一代で莫大な財をなすことが可能な人です。

from カラー占い

調和と自然体を愛する人

ロックオンのパイロットスーツの色であるグリーンを身につけている人は、調和を求める人です。周りの人とうまく合わせることができる人が多い傾向もあります。また、自然体でいたいという気持ちが強いようです。ただし、内側には成長欲求があります。

from ことだま占い

責任感があるリーダータイプ！

名前の最初の音は「ろ」。この音をもつ人は、とてもおおらかで優しい人が多いのが特徴です。しかし、実は内面ではとても強い意思をもっており、責任感が強い人なので、リーダーに最適。その分、苦労も背負い込みやすいのですが、頑張れる人です。

from 姓名五行占い

華やかさと落ち着きと上昇志向

名前を五行で見ていくと、木、土、火の要素を兼ね備えている人だということがわかります。人をひきつける華やかさとともに、落ち着きをも秘めている人です。しかし、同時に簡単には妥協しない強い上昇志向も、実は心の奥底に隠しもっているようです。

fortunetelling by SAYAKA SHIJO (Four Clear)



最初なんですけど、僕には2機目ですから。もう少しライルが操縦に苦悩したり、コクピットにいたりするシーンが見てみたいですね」

——他のマイスターの印象は？

「アレルヤはもがきつづけるんでしようね。ソレスタルビーイングに身を置いている以上、マリーを取り戻すという目的を達成しても戦いつづけなければならないし。でも戦いになったら彼女のほうがスキルは上ですよね。守りたい人のほうが強いって、男としてしんどいんじゃないかな。ティエリアは悩んでいますよね。イノベイターの登場で、自分の存在を根底から揺さぶられて。自分は人間だって叫んで、その迷いを吹っ切った上で、何がベストなのかを悩みつづけていくんじゃないのかな。刹那は……一番答えにくいですね。強い力を得たこともあるけど、彼の力は組織の中で独り歩きしはじめているのかもしれない。彼ひとりで戦えてしまうほどの強さですからね」

——今後の活躍に期待することは？

「参加させていただいている身なので、何かを期待するのは僕の仕事から外れてしまうことなので、ありません。彼が納得のいくような人生を送ってくれれば、それがいちばんです。たとえそれが死であったとしても……。作品としては本当におもしろくて、僕自身も毎回オンエアを楽しみにしているんです。最終話は家でじっくり見たいですね。……えっ、最終話の日は仕事？　残念……」

仲間は彼に兄の面影を見る。だがそれすらも宿命として背負う。希代の狙撃手が狙いを定める未来とは？

LOCKON's last wish

「ライルが納得のいくような人生を送ってくれれば、それがいちばんです」

（三木眞一郎）

shot by FUMIO KANAZASHI　hair&make by MISAKO OOHASHI (fringe)　text by HIROYUKI KAWAI

—セカンドシーズンで、ライルはどんなふうに成長した？

「成長、というより変化でしょうね。当初はソレスタルビーイングが利用できると判断して、カタロンを守りながら戦うという意図があったと思うんです。でも彼の根底にあるものは平和ですから、本質的にはマイスターたちと一緒なんですよね」

—ニールの存在は今も大きい？

「声も顔も同じなのに別人であるという違和感は、ソレスタルビーイングのメンバーもファンの方も同じ感覚でしょう。作品世界と同じ視点で見ることができるキャラクターなんて、おもしろいポジションですよね。ライルの態度が許せない、ニールならこんなことしないっていうお手紙をもらったりするんですが、その感想は正しいと思う。２人はまったくの別人ですから、僕はそれでいいと思うんです」

—ライルは常にニールの面影と戦っている？

「プトレマイオス2の仲間たちは、ライルを見ながらも瞳の奥ではニールの面影を映しているかもしれない。自分がそういう状況だったら、嫌われたほうが楽だと感じてしまう。だからライルは相当強いんだと思います。兄だったらそんなことはしないって、何気ない行動で嫌われるかもしれない。ニールは壮絶な戦いで命を落としていますから、死んだあともイメージがどんどん美化されていくのはしょうがないですよね」

—アニューの登場で、ライルの意識はどう変わった？

「ライルは家族が欲しかったと思うんですよ。昔からニールには差をつけられていたんだろうし、プトレマイオス2は兄の家みたいなもんですからね。だから新メンバーという立場の近いアニューに、身内のような思いを抱いたんだと思いますね」

—兄の敵、サーシェスはどういった存在になる？

「他のマイスターたちより、憎しみは薄いかもしれないですね。長年会ってない兄と、一方でともに戦ったメンバーとでは状況がまるで違います。今後、生前の兄の様子を知っていく中で、サーシェスへの感情が育っていくのかもしれません」

—ケルディムガンダムの印象は？

「愛着、という意味では、デュナメスで感じた最初の衝撃は越えられないんですよね。ライルにしてみたら



↑「歩んだ人生が違うから、『狙い撃つ』も彼なりの言い方です」



↑「アニューとの絆は、画面に映る時間以外も築かれていたと思う」

[仲間たちが感じるロックオン]

兄から弟へと受け継がれた〝ロックオン〟の名と魂。マイスター&プトレマイオス2のクルーのCVたちから見た彼の変化はどのようなものなのだろうか？

宮野真守
（刹那・F・セイエイ役）

ニールの思い出をもつ人たちの中に、あえて飛び込んだライルは本当に大変だと思います。彼には仲間たちと異なる立場もありますから、今後どんなドラマを見せてくれるのか楽しみです。

神谷浩史
（ティエリア・アーデ役）

ニールと同じ容姿で、似たような能力の男。でも戦うためには、ライルに頼らざるを得ない。ティエリアとしては複雑な気持ちなんだろうなと思います。

吉野裕行
（アレルヤ・ハプティズム役）

ロックオンは外見も役割も以前と同じなのに、まったくの別人ですからね。何とも接しづらいです。接しづらいというか、わからないですね。

梅津秀行 （イアン・ヴァスティ役）

絶対、敵には回したくない男かも（笑）。

東地宏樹 （ラッセ・アイオン役）

ロックオンですか？　ライル？　ライルは、最初の戦闘から落ち着いていたのが印象的。

本名陽子 （スメラギ・李・ノリエガ役）

フェルトとのキスでは、ライルの兄に対する思いがわかったと同時に、ライルの人物像がわかりやすく描かれていましたね。……それにしても、ドキドキしちゃいました♥　ニールとライル、２人のロックオンが、いろんな意味で罪を作ってるんですよ。ホント。

高垣彩陽 （フェルト・グレイス役）

容姿や声にニールを重ねてしまうライルにはフェルトも私自身も戸惑いがあり、今後が一番気になる存在です。キスシーンやメメントモリ破壊時の「狙い撃つ」シーンは印象的でした。

戸松遥 （ミレイナ・ヴァスティ役）

ライルということでよろしいのでしょうか……？　ニールと兄弟だけあって腕前はさすがだなと感心しました。でもいきなりフェルトにキスは……。

Shinichiro Miki Profile

●みき・しんいちろう／代表作に「ポケットモンスター」シリーズ（コジロウ）、「頭文字D」シリーズ（藤原拓海）、「RIDEBACK-ライドバック-」（ロマノフ・カレンバーク）など。「刹那はもともと人間として強い素養をもっていたんじゃないかな。でもこの先、大きな悩みにぶつかるかも。そんなとき、彼を助けるのは沙慈かもしれないですね」

LOCKON SIDE

Celestial

声や外見はそっくりだけど性格が異なるニールとライル。
彼らのことばを拝借するときは、２人の違いをうまく出そう！

MISSION 1　ともに戦いに臨む相棒へのひと言
「さてと。いこうか、相棒」

セイロン島への武力介入に向かうニール。その決意を固めるように、彼はハロに対して、そう声をかける。パートナーに対する愛着と信頼がうかがえるこのセリフは、いろいろな場面で利用可能。いっしょに試験に臨む友人や、ラケットやバットなどスポーツの道具に使ってみるとオモロー！



MISSION 2　入手したいものを発見したときに
「目標を狙い撃つ！」



タリビアを戦争幇助国と認定したソレスタルビーイングは、武力介入を開始。敵MSを撃破すべく、ニールは照準を定める。同じような状況は、意外とショッピングにあり。バーゲンセールの真っただ中、前を防ぐ人垣の向こうに好みの商品を発見したなら、意志表明として叫んでみよう！

MISSION 3　相手の口を割らせたいときは
「強情だな。お仕置きが足りないか？」

エクシアから降り、サーシェスに姿をさらしてしまった刹那。その真意を問い詰めるべく、ニールが発したのがこのことばだった。ユーモラスな響きのあるこのセリフは、さりげなく相手の行動理由を探りたいときに最適だ。なぜか怒っている友達やつれない態度の恋人にぜひ使ってみよう。



MISSION 4　自信過剰な演技で周りをあおろう
「きょうの俺は……容赦ねぇぞ」



家族をテロで殺された過去をもつニール。テロ組織への武力介入の際、彼は静かなる決意をもってミッションに臨む。そのとき、彼がつぶやいたことばがこちら。ゲームで友達と対戦するときに使ってみれば、その場が白熱すること請け合い。ただし、負けるとカッコ悪いので注意が必要！

MISSION 5　ミスした相手に負担をかけたくないときに
「失敗ぐらいするさ。人間なんだからな」

ニールは、ティエリアをかばって利き目を負傷してしまう。それに対する謝罪のことばを、彼はこのひと言で受け止めた。人として、懐の大きさをうかがえるワンシーンだ。そんな大人の魅力いっぱいのニールにあこがれる君は、このセリフを使って、友人や同僚のミスを寛大に許してあげよう。



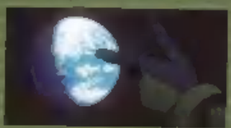
MISSION 6　非を認めながらも、意地を通したいときに
「咎は受けるさ。お前を倒した後でな！」



ソレスタルビーイングの行動は、戦争根絶を掲げたテロ行為だと言うサーシェスに対し、ニールはこのセリフを叫ぶ。自分の罪を認識しながらも、譲れない思いがあるときに使ってみよう。たとえば、弟のお菓子をどうしても横取りして食べたいとき、咎を受ける覚悟があるならどうぞ。

MISSION 7　高みからものを言い、悔しさを半減させる
「よぅ、お前ら、満足か……こんな世界で……」

サーシェスの凶弾にニールは倒れる。宇宙にほうり出された彼は、地球に向かってこのセリフを投げかけた。彼の最期となる感動的なシーンだがあえて負け惜しみのセリフとして使ってみては。恋人ができてかまってくれない友人に、劣等感を隠しつつ毅然と言い放てば、ハッとするかも!?

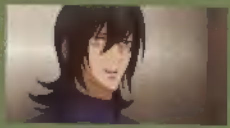


MISSION 1　女性コーチに有効なひと言？
「よろしく頼むよ、かわいい教官殿」

ソレスタルビーイングに参加したライルは、ティエリアからMSの操縦方法の手ほどきを受ける。そのときに発したセリフがこちら。真剣に指導しようとするティエリアは、「ちゃかさないでほしい」と怒ったが、女の子にこのセリフを言えば、優しく手取り足取り教えてくれるようになるかも!?



MISSION 2　同じ反応をする友人たちに
「そのリアクション、飽きたよ」



連邦の基地に4年間幽閉されていたアレルヤ。脱出後初めてライルに対面した彼の驚きに対する返答がこのセリフ。髪を切る、新しい服を買う、などイメチェンをした自分にいちいち驚く友人をこのことばで牽制しよう。失敗をしたとき、面倒な小言を回避したい場合にも使えるぞ！

MISSION 3　玉砕覚悟であの子を誘いたい！
「その気があるなら、後で部屋に」

今は亡きニールの面影をライルに重ねるフェルトに対し、彼はこのことばを投げかけ、彼女の思い込みをブラックユーモア的に訂正した。口説き文句にも使えるこのセリフは、ふだん軟弱キャラと思われている君にぴったり。積極的と思われるか、ふらちと取られるか……。それは時の運！



MISSION 4　達成感を隠しつつ、実力をアピール
「言ったろ、本気モードだって！」



プトレマイオス２を襲撃する敵MSを、迎撃するライル。「命中、命中」と戦果を報告するハロに向かって彼は、自慢げにこのセリフを口にした。成果をほめてくれる友人へ、照れ隠しを込めて使うのに有効かも。ただし事前に「本気モード」であることを告げねばならぬ分、ハードル高し。

MISSION 5　呆れたさまを軽口で表現
「むちゃくちゃ言ってるぞ、この女」

テレビから中東再編成に関するニュースが流れ、むちゃな再編案を読み上げるアナウンサーにライルはあきれた声でこのセリフを発した。相手を皮肉る要素も含まれているので、嫌味をチクリと言いたいときにも活用できる。くだらない自慢をする友達や無理難題を言う上司に使ってみては？



MISSION 6　誰かを怒らせてしまったあの人に
「しっかし、あんたは不器用だな」



ルイスの悲劇の原因をガンダムに重ね、刹那に憎しみをぶつける沙慈。彼女を助けたいなら戦えと言い放った刹那に、ライルは思わずこのセリフを口にする。口ベタで上手に人をなぐさめられない友人が、君の周りにもいるだろう。そんな人にねぎらいの意をこめて使ってみると喜ばれるかも！

MISSION 7　再会の喜びの照れ隠しに
「この野郎、生きてやがったか」

ライルはマスラオと戦闘中のダブルオーの姿を目撃。安堵して、口にしたことばがこれ。素直に再会を喜べない不器用さもにじみ出ている。連休明けなどで、しばらく連絡を取っていなかった友人に使ってみよう。冗談っぽく言わないと友情にヒビが入る、演技力必須の高等フレーズである。

